

アタックテストサービス エクスプレスご利用のお客様へ

平成 16 年 9 月 2 日  
富士通株式会社

「オラクル製品の脆弱性」について

拝啓、貴社益々ご清栄の事とお喜び申し上げます。  
平素は格別なるご高配を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

この度、「オラクル製品の脆弱性」に関する情報が 9 月 1 日付けで Qualys 社より報告されました。

下記の方法に従って、アタックテストサービスエクスプレスで本脆弱性が検出されないかをご確認ください。万が一検出された場合には、至急対処のご検討をさせていただきますようお願いいたします。

敬具

記

Qualys セキュリティアドバイザリ (英文)

Oracle Security Bulletin: Several Oracle Security Vulnerabilities  
<http://www.qualys.com/research/alerts/view.php/2004-09-01>

オラクル社は月例のセキュリティパッチをリリースしました。このパッチには、Oracle Database、Oracle Enterprise Manager、Oracle Application Server に存在する 30 以上の脆弱性が含まれています。

[関連 URL]

(英文)

<http://www.oracle.com/technology/deploy/security/pdf/2004alert68.pdf>

[確認方法]

以下の方法にて、本脆弱性のみを選択して短時間で診断することが可能です。

- 1) QualysGuard にログインし、「Preferences」->「Options」->「Profiles」より「New Profile」を作成します。
- 2) 「Scanned TCP Ports」オプションの「None」を選択し、「Additional」にチェックを入れ、TCP ポート「80,1521」を記入します。

- 3) "Vulnerability Detection"オプションの「Custom」を選択し、  
"Configure..."をクリックします。  
Findを「QID」、withinを「All」、以下の Qualys ID で containing を  
"Search"し、以下の QualysID を選択して"OK"してください。

Qualys ID: 19102 「Oracle Database Server Multiple Vulnerabilities」

Qualys ID: 86675 「Oracle Application Server Multiple Portal  
and iSQL Plus Vulnerabilities」

もし、Windows(NetBIOS)マシン名でホストの脆弱性を調査したい時  
には、QualysID「82044」も選択してください。

- 4) "Windows Authentication"オプションの"Enable Windows authentication"  
をチェックします。
- 5) "Profile Title"をつけ、最後に"Save"します。
- 6) "Scan"->"Launch Scan"で診断対象の IP を選択し、先程作成した"Options"  
を選択し、"Start Scan"します。

- 以上 -

-----  
お問い合わせ窓口)

富士通株式会社 アウトソーシング事業本部

セキュリティサービス統括部 セキュリティシステム部

qualys-support@support.fujitsu.com

<http://segroup.fujitsu.com/secure/service/attacktest-express/index.html>